

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Fコート

試合区分: No. 312 少年男子 準々決勝

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 藤垣 庸二

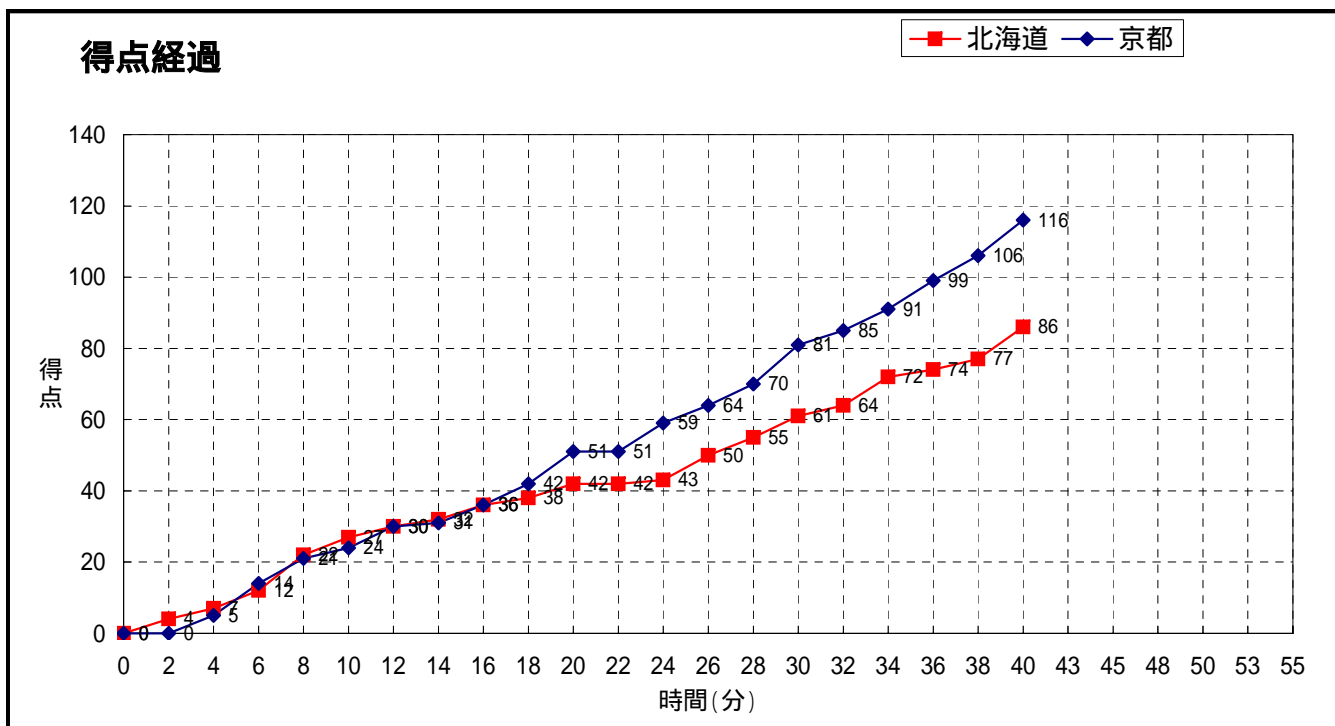
開始時間: 11:55

副審: ジョナサン・マーフィー

終了時間: 13:20

京都						北海道									
116						86									
(近畿)						(北海道)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	竹本 涼	4	0	2	0	2	4	*	菊地 庸広	9	1	2	2	3
5	*	湊谷 安玲久司朱	36	6	7	4	2	5		渡邊 則次	0	0	0	0	4
6		井関 慎平	4	0	2	0	1	6	*	坂上 亮	27	5	5	2	3
7		金井 賢治	14	0	4	6	1	7	*	荒井 祐人	3	0	1	1	5
8		永原 龍徳	0	0	0	0	1	8	*	福田 真生	25	2	8	3	2
9	*	田村 晋	9	0	4	1	2	9		濱名 駿	3	1	0	0	2
10	*	辻 直人	16	1	6	1	2	10		川口 裕介	0	0	0	0	0
11		加藤 貴大	5	0	2	1	0	11		永井 裕康	6	0	3	0	4
12		柳田 将人	0	0	0	0	0	12	*	水戸 浩二	10	0	4	2	1
13		谷口 達朗	4	0	2	0	0	13		亀谷 忠明	-	-	-	-	-
14		比江島 慎	10	0	5	0	1	14		野呂 竜比人	3	0	1	1	2
15	*	谷口 大智	14	0	6	2	2	15		内藤 慎也	0	0	0	0	0
コーチ		作本 信夫雄						コーチ		長野 雅男					
合計			116	7	40	15	14	合計			86	9	24	11	26

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。先制したのは北海道。#12水戸の速攻やカットイン、#8福田のバスケットボールカウントとボーナススロー成功により優位に立ったかに見えた。しかし、京都は#10辻と#15谷口のコンビプレイや#10辻の3Pシュートで互角の展開へ。27-24北海道が3点リードで第2ピリオドへ。

第2ピリオドに入り、両チームともにディフェンスが厳しさを増していく。北海道は#7荒井のファールが4回と苦しくなる。その中で、京都#6井関がスピードのあるプレイや、チャージングをもらうなど、気迫あふれるプレイでチームを引っ張り、前半を京都が9点リードで折り返す。

第3ピリオド、追い上げたい北海道は、ディフェンスを1-2-2のオールコートゾーンプレスに変える。それに対して、京都は落ち着いて対応し、残り6分でその差を16点に広げる。たまた、ディフェンスをマンツーマンに戻すものの、波に乗る京都が、81-61の20点リードで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、北海道は、#6坂上の連続3Pシュートやジャンプシュートで粘りを見せるが、京都は#15谷口が高さを生かしリバウンドを取り、#5湊谷が合計36得点と実力を発揮し、京都が116-86の30点差で勝利した。

担当者: 山村 孝史(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会